

## c 1 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正

(平成 30 年 4 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

NPO 法人ナルク岐阜福祉調査センター

### ②施設・事業所情報

名称：認定こども園ながらこどもの森	種別:認定こども園	
代表者氏名：脇淵徹映	定員（利用人数）：（148） 148 名	
所在：地岐阜市福田町 2-12：		
TEL：058-231-8945	ホームページ： <a href="https://nagara.codomonori.jp">https://nagara.codomonori.jp</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 28 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 堂角舎		
職員数	常勤職員： 22 名	非常勤職員 11 名
専門職員	保育教諭 20 名	保育教諭 9 名
	栄養士 1 名	調理員 2 名
	調理士 1 名	
施設・設備の概要	保育室 5 室 遊戯室 1 室	調理室 1 室 休憩室 1 室
	一時預かりコーナー（遊戯室の一部）	更衣室 1 室 事務室 1 室
	調乳室 1 室 沐浴室 1 室	園長室 1 室 食品庫 1 室
	幼児 WC 4 職員 WC 1	（設備等）プール・水飲み場 木製総合遊具（乳児用、幼児用それぞれ 1 基）・砂場・吊り輪

### ③理念・基本方針（※転載）

理念 教育・保育理念

「ともに生き ともに育ちあう道を歩もう」

教育・保育方針

遊んで学ぶ、大切なこと全部

教育・保育目標と視点

こどもの主体性を育てる保育

①いきいきとした遊びの発見

②ゆたかな感動の体験

③確かな情操の発展

#### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

##### ●立地・環境

認定こども園ながらこどもの森は、岐阜市の北東部に位置する。周囲は平坦な住宅地が形成され、数か所の公園、小学校・高校が点在した文教地区である。また、主要な環状線や岐阜駅高富線など公共交通軸が配置され、沿道には商業施設が集積している。南部には清流長良川が流れ、多くのホテルや長良川国際会議場が立地し、対岸部と合わせ観光・コンベンション拠点及び自然・歴史・景観拠点を形成している。

認定こども園ながらのこどもの森の前身は「長良保育園」である。「長良保育園」は社会福祉法人堂角舎が、平成 16 年 4 月、岐阜市公立保育所から移管を受け事業を開始した。そして、平成 28 年 4 月、認定保育園の認可を受け名称を「認定こども園ながらこどもの森」と改称し、本年 2 年目を迎えたところである。

建物は鉄筋コンクリート造二階建てで、一階は乳児室、1 歳児室、2 歳児室、二階は 3 歳・4 歳・5 歳の異年齢保育室 3 室及び遊戯室（ホール）である。乳児室には調乳室、沐浴室、1 歳児室には WC、洗濯コーナー、芝張りしたテラスがある。1985 年建築の園舎はやや古いだが、保育室の床・壁、廊下などは木張りで良く清掃され、園児たちが寝転んでいても、違和感がなく環境は良好であった。園庭は緑が多く、変化に富み、公園にあるような、水飲み施設も設置され、芝も張っており、三輪車用道路、さまざまな遊びのできる大型の木製遊具（DoBeeHouse）が印象的であった。

##### ●乳児クラス保育の特徴

0 歳「つくし」、1 歳「タンポポ」、2 歳「すみれ」の 3 クラスは、年齢ごとの区分であり、各クラスは一人の保育教諭が数人の子を担当し、食事や排せつ、着脱、睡眠などの育児を丁寧に見守る「ゆるやかな育児担当制」がとられている。「ゆるやかな担当制」により、基本的な生活習慣を身につけるという乳児期の課題を達成することを目的にしており、より清潔で安定した家庭的な環境の中での、きめ細やかな保育を目指している。

特定のおとな（保育者）が特定の子どもを保育するように心がけているので、例えばトイレの時間を準備し、クラス全員が一緒に用を足すということはない。このことにより、こどもの生理的欲求がより満足されやすくなり、情緒の安定が期待できる。

未満児の給食はそれぞれの部屋で、保育士が食べさせ、或いは食べるの見守っている。テーブルの高さは変えられないが、椅子は全ての子どもが床に足をつけた正しい姿勢で食事ができるよう、高低の違う 3 種類の木製の椅子が用意されている。それでも床に足の届かない子供には、30 センチ四方ぐらいの、マットを用意し、マットを床に敷いて足が届くよう細かな配慮がされている。

担当保育者が変わらないので、子どもにとっては、情緒的応答性が高く、一貫した養育態度が望め、子どもの読み取り能力の感性を高め、日々の生活を予測可能なものにする。また、行動に迷ったり未経験で不慣れな状況下で、心の動揺を感じた時、担当保育者が安心の基地として機能する。

### ●幼児クラス保育の特徴

以上児（3歳児・4歳児・5歳児）の3室（ふじ・ゆり・さくら）は混合してマルチエイジクラスを形成している。年齢差の子ども達が一つのクラスになることによって、「いろいろな子がいるな」、「みんなちがうんだ」という意識を育て、個人間、仲間間、グループ間の多彩な人間関係が、「対等」「従う」「上に立つ」という役割を経験しやすくなる。保育士の準備した遊び「課業」では、それぞれの年齢毎に達成したい課題（絵画や音楽の遊び）に取り組むことになる。

マルチエイジの3クラスは、同じ人数構成のクラスが3つできることになり、そこには新しいタイプのクラス間の交流（運動会でのクラス対抗競技等）が生まれる。また、時期を同じくして3タイプの保育実践がなされるということで、担任の保育士には環境構成や保育計画のあり方考える機会が多くなり、保育内容の充実につながるようになる。

以上児の給食も全員一斉ではない。11時35分から12時30分頃の範囲で、食べ始める。ブルーのキャップをかぶりエプロンをした給食当番が、トレーに並べたお料理を、一人一人が決められた自分のテーブルまで自分で運び、食べていた。食前の手の消毒、食事前の「いただきます」も徹底されていた。食後の後片付けもすべて子どもが行っていた。

給食後はコットを使用して、5歳児も11月末までは、毎日午睡・休息することができる。また、全園児が集まっての誕生会は行われず、一人ひとりの誕生日に、クラスで祝福され、誕生日であることを示す「冠」をつけて一日を過ごし、全員から祝福を受けることができる。

一年を通じてマルチエイジクラスを構成する子ども集団の約束は、年長児が毎週開催される「年長会議」で決定される。また、年長児は一年を通じてドリームシアターやメディアコスモスなどの公共の施設を公共交通機関を使って訪れ、挨拶の仕方や公共性を培っている。

秋には姉妹園である「かみいしづこどもの森」を訪ね、ムッレスチューガーと名付けられた山小屋で過ごしたり、里山の自然に触れてお泊り会も体験できる。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年7月6日（契約日）～ 平成31年2月25日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成23年度）

## ⑥総評

◇特に評価の高い点

### ●アプローチプログラム

毎年9月の運動会を区りにして、年長児にはアプローチプログラム（進学）を意識した教育が始められる。10月中旬の「お泊り保育」、就学時健康診断後の「お遊び発表会」での年長児であることを意識させた発表会の練習。12月からは午後の2時間の教育時間に百人一首やカルタ遊びなど数や文字への、興味をより満足する教材の使用、将棋等より複雑な約束を体験する。1月からは土粘土を使って、自らイメージした世界を表現する遊びにも挑戦し、共同で使う教材や道具を大切に使い、整理整頓することも学ぶ。

3月は園全体の移行期を迎え、年長組だけのクラスを作り、年長会議の引継ぎや清掃活動等、年長組としての様々な課題の仕上げを目指している。

### ●保育者集団が目指す子どもの姿

新しい保育所保育指針では、「5歳までに育て欲し10の姿」が示されたが、当園では既に数年前から、以下に記す15のの姿をイメージしている。

①生活習慣が自立している、②集中して遊ぶ・想像して遊ぶ、③単純な遊び、ルールを知っている、④話を聞くことができる、⑤絵本をたくさん知っている、⑥色々な視点でグループ分けができる、⑦遊びの中で10まで数えられる、⑧運動的なことができている、⑨空間感覚（左右上下）、⑩ボールを上手に扱える、⑪利き手ははっきりしている。微細運動が安定している。5本の指が順番におれる、⑫自分の名前が読めて自分の名前が書け、家の住所・電話が言える、⑬絵や工作の道具・使用方法を身につけている、⑭三人遊びができる、⑮自分の気持ちを相手に伝えることができる。

### ●保護者との交流・懇談会

乳児は午後のみであるが、以上児クラスはAコース（午前中から保育見学、ランチの試食、午後の懇談）、Bコースは午後から懇談、おやつ試食、保育見学というプランに分け、保護者のニーズに合わせて保護者との個人懇談、保育公開を行っている。その受け入れも一日一組だけの受け入れであり、開園している年間のほぼ半分の日に、いずれかの保護者が保育室にいることになる。このことは、保育者と違う大人がクラスにすることで、その大人との関わりを子どもは学ぶことにもなる。

懇談会とは別に、毎年1月、以上児3クラスの保育の様子を3日間保護者に公開している。一日当たりの各クラスの参加定員は10名程度としているので、3日間でおおよそ100名の保護者が参加している。ここでは、保育方針や内容、或いは育児講演会も行われ、子育ての大切さ、楽しさを共感できる場となっている。

### ●わらべうた・異文化交流・課業、毎日体操・自然体験・ねんどあそび

外部から講師をまねき、「わらべうた」をそれぞれのクラスで園内研修をするとともに、以上児、乳児のチームで学習会をして保育者が互いに学び合う機会が設けられている。

ECCに委託してネイティブ講師による英語に触れる機会が毎月1回持たれている。

保育者がカリキュラムを組み立て、環境認識、文学、数などの課業は1週間に数回行

われ、毎日体操は、毎日 20 分～30 分二階のホールで行われている。

●園庭や周辺自然環境を生かし、スエーデンのエコロジー教育のムッシェを題材にした自然観察を欠かさないようにしている。また、岐阜県野外保育研究会に属し、会が所有する大垣市上石津町にある「ムッシェスチューガー」を「おとまり保育」で訪れ、野外活動を通しての原体験が得られるよう工夫されている。

●乳幼児の登園、降園の確認は玄関に備えられた 3 基のタッチパネルによって、行われている。

◇改善を求められる点

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

・チェックシートを基に職員間で話し合いを行い、普段話している保育内容や環境のことだけでなく、園にかかわる様々なことを再確認することができました。

・保護者からのアンケート結果を拝見し、様々な取り決めや、約束などがそれを決めた時には理由の説明を行っていたが、時間の経過とともに説明責任が不十分になっていたり、説明することを失念していたことがあり、大いに反省することがありました。

・現地調査で様々なことを尋ねられ、保護者などの利用者に、あらかじめどのように説明していけば良いかなど思いをめぐらすことができました。

#### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念を「ともに生き、ともに育ちあう道を歩もう」、保育目標を、①いきいきとした遊びの発見、②ゆたかな感動の体験、③たしかな情操の発揚と定め、ホームページや、重要事項説明書に記載し、入園の説明会などで周知を図っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の理事長は本園の園長である。理事長は岐阜県民間保育園・こども園連盟の会長を務めていることから事業経営を取り巻く環境と、経営状況は十分把握し分析は行われている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育・保育は意欲を育てる意育の世界」という認識の基に、会議、会合、ミーティングなど、職員間のコミュニケーションを豊かにする工夫するよう、心がけている。</li> <li>・0歳から卒園を控えた年長児の12月1日まで午睡の時間を設けており、その時間を会議や打合せなどのコミュニケーションに活用している。毎日、1時間半程度の時間を得ることは、とても有効な活用が望める。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		

4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・㉔・c
<p>良い点／工夫されている点：  ・施設の長期的なビジョン計画に対する見解は、残念ながら、市の「岐阜市子ども子育て会議」等で示される資料を基に立案するものの、国の政策や市の方向などが流動的で、末端の施設ではどのようなプランを立てても好ましいモノはできないとの判断である。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：  ・平成27年（2015年）に実施された制度改革により5年間は試行期間とし、2020年には改革の見直しを行うとされている。これに伴い岐阜市においても今年度は中間年度としての子ども子育て計画の見直しが行われたが、需要及び供給の見直しでは依然として乳児の需要が高い。本園にとっては良好な方向を示しているが、来年度10月に予定される消費税に見直しに伴う幼児教育の無償化が及ぼす影響については未だ未知数である。  このような現状を踏まえて、中長期の計画を立て直し、それを明確に示していく予定ではある。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉔・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  ・単年度の計画については、2018年度の全体計画として「重要説明事項」「教育・保育課程基本情報」「教育・保育の内容と実際」「学校保健計画」「月別防災訓練計画」「研修計画」「食育計画」「6クラスの年間指導計画」と具体的に策定されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉔・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  ・年度の計画は1月の職員会で当該年度の事業についての反省を求め、2月の職員会議で中間報告が行われ、3月に概ねの計画が策定され、3月末に全体の計画として事務室にて作成され、職員に配布される。これを受けて各クラスごとの計画を見直し、具体的な年案が作成されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉔・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  ・新入園児には3月の中旬に行われる入園説明会にて逐一説明をしている。在園児に対しては、入園式当日に「今年度の重要事項説明書」を配付し、説明を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	

8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は職員と個人面談を行い、次のような自己評価をヒアリングしている。</li> <li>①今年一年どんな目標（めあて）を持って過ごしてきましたか？</li> <li>②今年のポジションで活躍できましたか？</li> <li>③今年のあなたを100点満点で評価すると何点でしょうか？</li> <li>④今年のながらこどもの森であなたにとって高い評価をする人はだれでしょう。</li> <li>⑤来年度にはどんなことを目標として活躍したいですか？</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容については各クラス、乳児3クラス、幼児3クラス、全体という視点で見直しを行っている。</li> <li>・初任者などの育成にも初任者一人に、数人がチームを組んでOJTやOFFJTを行っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組むべき課題として「教育保育環境としての建物」「教材・遊具等の現状と課題」「保護者対応として、施設利用の満足度の現状と課題」「働く場としての給与や、有休取得等待遇改善の現状と課題」等について明確にし計画的に改善を進めている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長不在時には副園長がこれを代行している。</li> <li>・園長の役割、及び責任については職員には年度当初の職員会において、保護者には入園式において、文書では重要事項説明書において明確に表明している。</li> <li>・経営管理に関する方針についても、職員には年度当初の職員会において、保護者には入園式において、文書では重要事項説明書において明確に表明している。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は県内の民間保育所、認定こども園の代表として、教育・保育制度問題、労務管理問題、教育・保育内容、経営管理についての研修を主催し、指導していく立場にあり、そのために自ら十二分な情報を収集し、計画を建てて、遵守すべき法令等を正しく理解するための</li> </ul>		

取組を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の質の向上のための、園内研修、案外研修は綿密な年間目標を定め実施している。</li> <li>・一昨年前まで乳児、幼児それぞれの公開保育、昨年は乳児クラスの公開保育、今年は幼児クラスの公開保育を行い、自園の職員のみならず、広く岐阜市の保育士の資質の向上への取組に指導力が発揮されている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事についてはそれぞれの保育者が現場で十分な力を発揮できるよう本人や同僚、上司からの聞き取りや評価を行って、より快適な職場になるよう心がけている。</li> <li>・労務については、賃金は国の処遇改善プランを利用し、近年改善を行っている。また、有休の取得、サービス残業ゼロ、適正な残業と持ち帰り仕事ゼロなどにも徹底するよう呼びかけている。</li> <li>・これらの職場環境を向上するための財務の工夫も行っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保のため養成校への働きかけ、ジョブフェアや企業説明会にはブースを設けたり、有料の採用募集案内や、紹介業者への依頼などの努力が重ねられている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉑・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一応経験年数を基礎にした人事基準を設けているが、経験値に加えて、専門性、本人の能力、成果などを対象に考察を行い、理事会に報告し、給与に反映させているが、職員に周知するまでには至っていない。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
・人事考課基準の明文化と、職員への周知が今後の課題とされる。		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の幼保連携認定こども園に移行後については、ライフワークバランスなども職員間で話し合い、より快適な労務環境を目指す体制ができています。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる全体の計画で「期待する職員像」を示し、1人ひとりが目標を立てることができるよう組み立てを行っている。</li> <li>・初任者などにはコーチをつけて職場での疑問を問いかける相手を決めて、一緒に考えたり工夫することの楽しさを感じることができるようになっている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の教育・研修に関しては、研修計画を立て職員に周知徹底している。</li> <li>・園外研修では、研修会などのプログラムやカリキュラムが示される時期が、年度が始まってから研修の案内などが届くので、有効な研修であることが確認でき次第、職員を派遣し保育内容、保育者の資質向上を図る体制となっている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる「全体の計画」にある研修計画に基づいて実施している。</li> <li>・詳しい研修内容についての通知は年度途中になるため、実情にそぐわない場合が生じたときは派遣する職員を変更したり、職員会などで検討して決定している。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れは積極的に行っている。</li> <li>・事前オリエンテーション時に使用する「しおり」はわかりやすさとともに、実習をより充実した内容にしてほしい願いが伝わるような内容になっている。</li> <li>・実習は保育士、幼稚園教諭、看護師と3種類の専門職に別れている。実習生はそれぞれの視点で主体的に実習することも目的とされている。</li> <li>・実習中の毎日、ノンコンタクトタイムをつくり、しっかり振り返りができて定時に実習</li> </ul>		

記録が作成できるように指導している。
改善できる点／改善方法：

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP等への公開については積極的に行っている。</li> <li>・第三者評価受審は今回が2度目となる。</li> <li>・地域へは、園便り・各種案内を民生児童委員や自治会長へ配付している。</li> <li>・毎月1回、地域の0歳から2歳の未就園児とその母親を対象に15組を定員としてモリセミ（子育て支援セミナー）の開催案内を公民館や北部事務所に配付するなどして広報している。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷口顧問税理士から経営のコンサルティング、経理や法人運営の指導を受けている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長良西小学校の校区内で敬老会への参加、地域高齢者施設訪問など、要請に基づいて行っている。</li> <li>・地域運動会のポスター掲示や地域の夏祭り等の参加呼びかけなど、基本的に自治会の指示により行っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㊶・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れは養成校や地域の中・高生徒の課外実習等、学校教育機関からの要請、或いは主任児童委員等の機関からの申込みによって行っている。</li> </ul>		

改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
良い点/工夫されている点： ・必要に応じて様々な場面に必要な社会資源（保健センター、子ども・若者総合支援センター、小学校、主任児童委員、嘱託医、公民館）と連携をとっている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	㉑・b・c
良い点/工夫されている点： ・園庭は毎日開放されている。開放に当たっては、園の周囲の照明を明るくして提供している。 ・0歳から2歳までの赤ちゃんと母親を対象に、年6回（6月・7月・8月・11月・1月・2月の火曜日）、毎回定員15名とし、2階ホールで「たべること・動くこと」「トイレトレーニング」「親子でヨガ」「おはなし・絵本」「土ねんど」「てづくりおもちゃ」と、テーマを定め『モリセミ』子育てセミナーを開催している。 ・地域の母親からの子育て相談に応じている。 ・電話相談・面接相談を受けるほか、地域の要請に応じて訪問相談も行われている。		
改善できる点/改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
良い点/工夫されている点： ・地域住民への相談事業や子育てセミナー実施することで、地域ニーズの把握に努めている。		
改善できる点/改善方法：		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
良い点/工夫されている点： ・職員の教育・保育マニュアルが定められている。マニュアルの「職員の心得Ⅲ」に、①人権、②差別用語、③虐待について、分かりやすく説明し、子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取組を行っている。		

改善できる点/改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育提供が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の「全体の計画」の中に、「ながらの森のプライバシーポリシー」が明確に記載され、子どものプライバシー保護と権利擁護に配慮した保育がされている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要事項についての説明を年度初めごとに行い、常時対応できるようリーフレットとして準備してある。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に聞き取り、書き取り調書をするなどして、配慮が必要と思われる人については対応が遅れないよう注意するなどの工夫を行っている。また、懇談の場を用意して教育・保育の内容についての説明の機会を設けている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前においては、転所などの場合は児童票Ⅱをプリントアウトし転所先へ送付している。就学時には、小学校へ教育・保育要録を提供し、児童の情報を次の機関に十分に伝えるようにしている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉑・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別に「満足度の調書」との名目で調査を行っていないが、保護者との懇談・話し合い等で、保護者の意向把握に努めている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式を定め、年に数回の満足度調査が行われる体制の構築が期待される。</li> </ul>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		

34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：          ・ 玄関に意見箱を設置し、自由に苦情を出せるようにしている。また、苦情解決の仕組みや相談窓口担当者文書で明記し掲示しているが、過去に具体的事例は発生していない。</p>		
改善できる点/改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：          ・ 入園時の重要事項の説明の中で、気軽に相談や意見を述べるよう説明をしている。園長、副園長、主任保育教諭の他、担任（クラスリーダー、フロアリーダー）、カウンセラーなどが積極的に保護者に声掛けを行い、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：          ・ 保護者から意見や苦情を受けた場合には、保護者対応マニュアルに沿って、担任が対応するもの、園長、副園長が対応するものなど判断し、迅速に対応する体制がとられている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：          ・ 安心・安全を守るためのマニュアルはよく整備されている。          ・ 家庭連絡簿（発熱、疾患などで保護者に通知した記録）、怪我報告書（園内における怪我の園長への報告書）、事故報告書などにより記録整備がされている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：          ・ 厚生労働省の発行している「感染症対策ガイドライン」により、安全確保の体制を定めている。          ・ 感染情報を、園の玄関に掲示するなどして保護者と情報を共有するように努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マニュアルにより、緊急連絡網や、一斉メール配信システムを整備している。</li> <li>・災害時に備え、ミルク用の水・食料などの備蓄をしている。</li> <li>・毎月実施されている避難訓練後には対応の確認を行っている。</li> </ul>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的な実施方法は全体の計画として定められ、その実施については常に確認を怠らないよう、職員会等で常に検討されている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育所保育指針」「全体の計画」等に基づき、子どもの発達を捉えた指導計画（年案・月案・週案・個別記録）を作成し、職員会等で実施についての見直しを行っている。年間計画は、年1回の見直しと期別の見直し、月案は月1回、週案・個別指導計画は随時見直しを行っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統一したアセスメント様式（家庭状況。生育歴・心身状況等）を使用し、アセスメントを行っている。</li> <li>・クラスリーダー・副主幹保育教諭・主幹保育教諭・副園長・園長のそれぞれが、ながらこどもの森の教育・保育を育てていくという意識を持つために、まず現状を把握するという点にも重点が置かれている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CHS（子育て文化研究所）の帳票・様式により指導計画を作成している。指導計画は各担当が、担当職員と共に定期的に評価反省を行っている。</li> </ul>		

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・CHS を活用している。CHS の様式に従い、子どもたちの様子を把握し記載している。		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
良い点／工夫されている点： ・記録の管理は、CHS の様式によって管理し、個人情報保護や守秘義務を徹底させている。		
改善できる点／改善方法：		